

科目名	英語 B	英語科目名	English (Basic IB)
開講年度・学期	平成 2 1 年度・後期	対象学科・専攻・学年	機械工学科 1 学年
授業形態	講義	必修 or 選択	必修
単位数	2 単位	単位種類	履修単位 (30 時間単位)
担当教員	有坂 顕二	居室 (もしくは所属)	専攻科棟 2 階
電話	0285-20-2191	E-mail	arisaka@oyama-ct.ac.jp
授業の達成目標			
1. 中学校で学習した事項の再確認。 2. 新出英単語・熟語, 文法事項の定着。 3. 辞書の使い方を覚える。 4. 全般的英語力 (読解力, 聴解力, 表現力等) の向上。 5. 基本的な学習姿勢を身につける。			
各達成目標に対する達成度の具体的な評価方法			
1, 2. 定期試験において 60% 以上の成績で評価する。 3 ~ 5. 提出物の内容と回数, 及び授業中の口頭発表の内容と回数を設定水準に基づいて評価する。			
評価方法			
評価は下記項目の加重平均で行う。 1. 4 回の定期試験の成績 (約 85%) 2. 夏季・冬季課題の内容, 確認テストの成績, 及びその他提出物や授業中の口頭発表の内容と回数 (約 15%) (ただしこれはあくまでも基本で, 場合に依り全てを考慮した上で, 総合的に評価する。)			
授業内容			
Lesson 6 The great journey (2 週) Lesson 7 One step beyond (2 週) Lesson 8 Are we alone in the universe? (2 週) 学習内容の総復習 (1 週) 後期中間試験 Lesson 9 Chagall: A life of love and art (2 週) Lesson 10 Soseki in London (2 週) 学習内容の総復習 (2 週) 学年末試験 試験返却と解説 + 予備 (1 週)			
キーワード	英語 外国語 総合英語		
教科書	Unicorn English Course I (文英堂)		
参考書	英和・和英辞典 NHK 英語テレビ・ラジオ講座等, 各種参考書等 (特に定めない)		
小山高専の教育方針 ~ との対応			
技術者教育プログラムの学習・教育目標			
(D-1) 言語の知識と語学・会話力を身につける。 (E-1) 外国の文化や価値観を知って国際性を身につける。			
JABEE 基準 1 の (1) との関係	(a) 地球的視点から多面的に物事を考える能力とその素養 (f) 日本語による論理的な記述力, 口頭発表力, 討議等のコミュニケーション能力および国際的に通用するコミュニケーション基礎能力		
カリキュラム中の位置づけ: 全ての科目の基礎となる科目である。			
前年度までの関連科目	中学校時代の英語科目		
現学年の関連科目	英会話		
次年度以降の関連科目	英語 (Basic ,), 英語 , 英語演習 , 英語演習		
連絡事項			
授業方法: 検定教科書を使用し, 基本的にはその内容に沿って授業をおこなう。授業は 1 Lesson 2 週ペースで実施。一方, 週 4 時間中 1 ~ 2 時間はプリントを使用し, 辞書の使い方や, 中学校で学習した内容, 特に文法面の復習, そして新出の文法項目の定着を図る予定。随時, 確認テストを実施。			
学習方法: 予習 - 各新 Lesson に入るまでに, 分からない (新出) 単語の品詞と日本語訳, 熟語の日本語訳を辞書で調べて提出。更に各新 Lesson の英文をノートに書き写しておく。 授業 - 授業中の活動に積極的に取り組み, 授業内容を理解する。 復習 - 授業中の板書内容や日本語訳などをノートにまとめ, 再確認する。また各 Lesson を終えた後, 教科書付属のワークブックの問題を解いて提出。			
定期試験実施方法: 試験時間は 50 分。持ち込みは一切不可。不正行為などには本校の規定にしたがって対処。			

学生へのメッセージ：

- ・授業には「必ず」英和辞典を（できれば和英辞典も）携行すること．
- ・随時，補助的教材（プリント等）を使用する予定．
- ・予習・復習を行う習慣をしっかりと身につけること．
- ・指示された課題は必ず，完全な形で出すこと．
- ・課題提出が本科目合格の「前提条件」です．したがって再試験を行う場合も，課題を全て提出した学生のみ対象となります．
- ・この授業計画はあくまで予定であって，進度が変わる場合は予め授業中に指示する．

シラバス作成年月日 | 平成20年3月16日